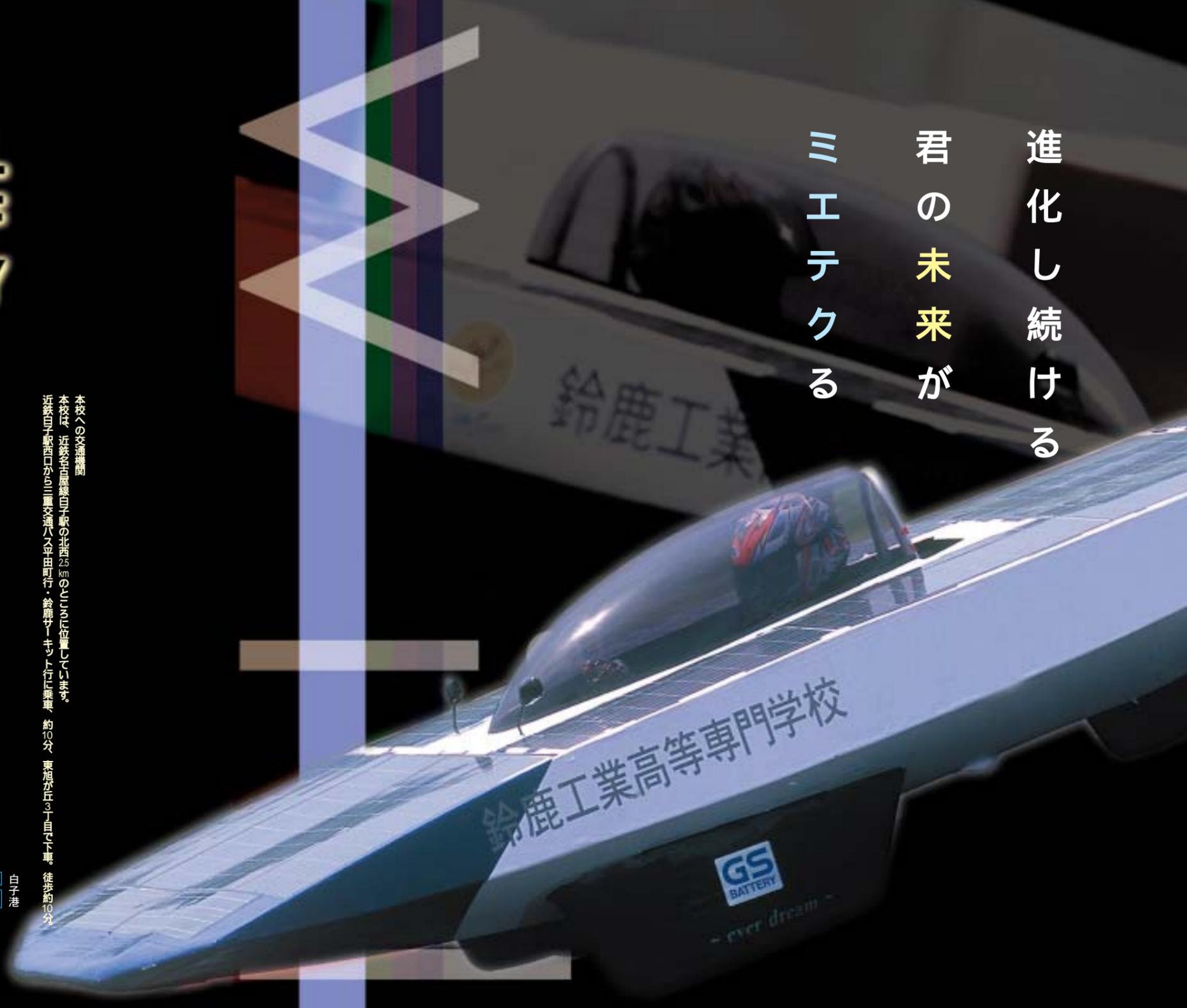


# SUZUKA NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY



本校への交通機関  
 本校は、近鉄名古屋線白子駅の北西2.5kmのところに位置しています。  
 近鉄白子駅西口から三重交通バス平田町行・鈴鹿サキット行に乗車、約10分、東旭が丘3丁目下車、徒歩約10分。

進化し続ける  
 君の未来が  
 ミエテクる



国立 鈴鹿工業高等専門学校  
 〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町  
 TEL.0593-86-1031(代) FAX.0593-68-1738  
<http://www.suzuka-ct.ac.jp>

国立 鈴鹿工業高等専門学校

意志あるところに  
**道**はある

Where there is a will, there is a way.

WILL.....それは、  
意思、希望、決意を  
あらわす言葉  
未来に生きる君たちへ  
心にあふれるWILLを  
現実に近づけるために...  
活力に満ちたフィールドが  
ここにある.....。



CONTENTS

*The Way*  
*The SUZUKA SPIRITS*

機械工学科

*Department of Mechanical Engineering*

電気電子工学科

*Department of Electrical and Electronic Engineering*

電子情報工学科

*Department of Electronic and Information Engineering*

生物応用化学科

*Department of Chemistry and Biochemistry*

材料工学科

*Department of Materials Science and Engineering*

Q&A

校内案内

マルチメディア棟・学生寮案内

クラブ活動

進学・就職・入学案内

4

5

7

9

11

13

15

17

19

21

23

25





鈴鹿工業高等専門学校長

勝山 正嗣

中学生のみなさんへ

鈴鹿高専は高度な実践的技術者の育成を  
目的とした国立の高等教育機関です。

恵まれた教育環境のもと、学生と教官との心の触れ合いを  
大切にして、思う存分青春を謳歌し高い専門的知識と  
豊かな創造性を身に付け、国際社会で羽ばたき輝こう。  
燃えよ若人、勉学にスポーツに、洋々たる明るい未来が  
待っています。

新世紀の知的リーダーとして活躍を夢見る意欲的な皆さんの  
チャレンジを望みます。

WILL

# THE WAY

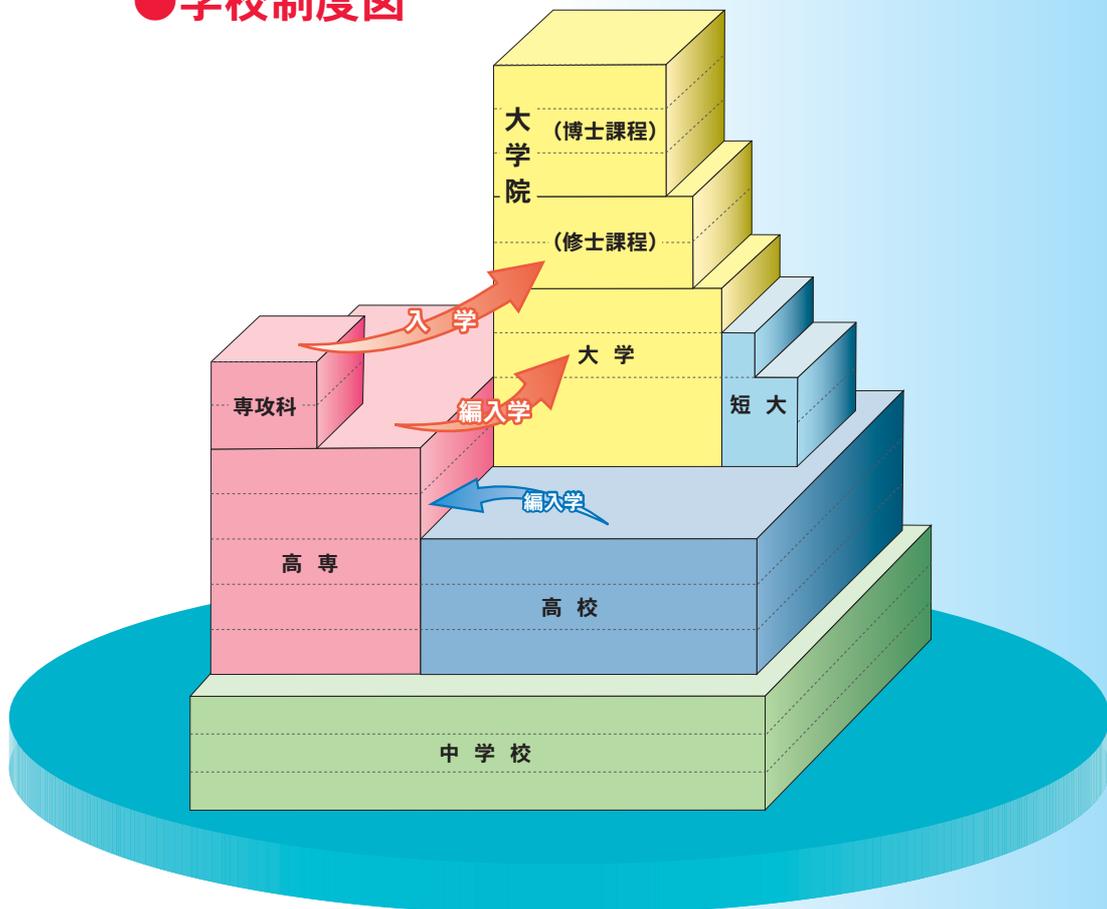
可能性の広がる進路。

工業高等専門学校（略称「高専」）は昭和37年（1962年）4月に、我が国の工業を支える優れたエンジニアを育成するため、中学校卒業後の5年間で大学の学部と同水準の専門教育をめざす国立の高等教育機関として設立されました。

鈴鹿高専は全国で12ある一期校の一つとして設立され、機械工学科、電気工学科（現電気電子工学科）、工業化学科（現生物応用化学科）の3学科体制で出発しました。その後金属工学科（現材料工学科）と電子情報工学科が増設され、これまでに5,500人以上の卒業生が巣立ちました。そして、技術者や研究者あるいは企業経営者として社会で活躍し、産業界の方々から高い評価を受けています。

また平成5年には、科学技術の進展と本格的な国際化時代の到来に対応するため、学科5年間の教育課程を卒業後さらに2年間の高度な専門教育を実施する「専攻科」を設置し、国際社会で活躍できるエンジニアの育成に努めています。

## ●学校制度図



# 世界に羽ばたく 創造的なエンジニアを めざして

## THE SUZUKA SPIRITS!

### ● 教育理念

中学校卒業後5ヶ年一貫の全人教育により、実践の場で役立つ高度の専門的知識とそれを社会のために正しく役立てられる豊かな人間性と的確な判断力を身につけ、ものづくりや技術開発の場で喜びをもって新しい価値を創り出すことができる創造的技術者を育成します。



### ● 国際交流にも力を入れています

鈴鹿高専は、アメリカオハイオ州立大学、カナダジョージアン技術大学との間で学術文化交流に関する協定を結び、教官や学生の交流、研究協力や資料収集の協力を進めています。

また、文部科学省及び地方公共団体などから海外へ





## ● 2割が女子学生

鈴鹿高専には、男子学生だけでなく女子学生も学んでいます。割合は学科によって異なりますが、学校全体で約20%を占めています。多くの職種に女性が進出する時代を迎え、高専に進学する女子学生も年々増えてきています。

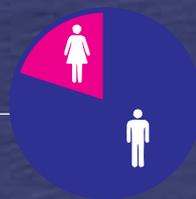
短期派遣され、現地の人々と交流する学生も増えていきます。

さらに、アジアなどからの留学生を受け入れており、これまでに40人以上の留学生が本校を卒業し、各地の大学に進学しています。



● カナダ  
ジョージアン技術大学

● アメリカ  
オハイオ州大学





# 機械 工学科

*Department of Mechanical Engineering*

# 工業の基礎は『ものづくり』 それを支える機械工学

あらゆる工業の基礎は『ものづくり』にあり、これを力強く支えているのが機械工学の知識と技術です。本学科ではコンピュータを用いた最先端の設計技術や加工技術を学ぶとともに、メカトロニクスの代表であるロボットの製作も行います。

## MESSAGE

### ● 機械工学科 1年 岡本 晃太郎

機械工学科では機械を中心とした「ものづくり」に携わる技術者になるための勉強をします。機械工学といえば海の底から宇宙までとあらゆる面で携わっています。

1年生では一般科目が多く専門科目は実習といったようなことをしています。しかし、専門科目を学ぶうえで必要となってくるのはやはり数学あるいは物理や英語の分野である為、この1年生という学年は機械工学又は他の専門を学ぶにしても大切な時だと思っています。クラスでは唯一女子のいないクラスということで男子の間で楽しい雰囲気があり毎日充実しています。授業は1限90分で中学校では味わったことのない長さです。しかし、授業の内容は濃いものでより自分の力になっていきます。

高専は5年間あり一般高校よりもじっくりものごとを考えることができ、友人とのつながりもより強くなります。また、自分を見直すのにもとても良い機会だと思っています。自分でより積極的に動き新しいことを見つけていくのもこの学校では大切なことだと思います。僕はこの学校に入ることができて本当に良かったと思っています。自分のしたい事ができて目標に少しでも近づいている気がします。高い目標を持ってそれに自分は努力していく、この努力がこの高専ではたいへん必要になってきます。自分の目で見て、自分が体験してじっくり考えてみてください。僕は、クラブ活動で協力し合える仲間と尊敬できる先生に出会い心身共にたいへん鍛えられています。“続ける力は才能である”高専は夢ある君を待っています。

## MESSAGE

### ● 機械工学科 1年 田中 重希

機械工学科では、将来社会に貢献できる技術者を目指して勉強をしています。1年生のうち是一般科目の授業が中心ですが、学年を積み重ねると共に専門科目も増えていき、十分な設備の下で実習等を通してながら学んでいきます。

また、1年生から製図や実習等の楽しい授業もあり、溶接や鋳造等色々な事を学んでいきます。授業は90分授業で、慣れるまではとても大変ですが、その充分な知識が必ず身に付きます。また、鈴鹿高専はとても自由の多い学校なので、のびのびと楽しい高専生活を毎日送る事が出来ます。それに5年間クラス替えがないので、仲間との信頼がとても深まり、クラスの雰囲気もとても良いです。

部活動も沢山の種類があり、自分に合った部活を探す事ができ、とても充実しています。また、授業や学校生活で分からない事があれば、部活や寮等の先輩に聞いたり、高専には職員室というものがないので、直接先生の部屋へ行って教えてもらう事が出来ます。

高専祭に来てもらえば分かると思いますが、鈴鹿高専のほとんどの行事は、学生自らが主催しているので、学生全員がやる気満々で、いつも活気に溢れて盛り上がっています。

とにかく、理数系が得意。モノづくりが好き。機械に興味があるなど、どれか1つでも当てはまれば、鈴鹿高専を絶対に選ぶべきです。そうすれば、充実した設備、先生、環境の下で5年間過ごせ、絶対に素晴らしい技術者になれると思います。

# 電気 電子 工学科

*Department of Electrical  
and Electronic Engineering*

# 人工衛星や宇宙ロケットの 開発など幅広い分野と未来が 活躍のフィールドです。

電気エネルギーの発生から情報機器、家電製品、さらには人工衛星、宇宙ロケットの開発にいたるまで幅広い分野で活躍している電気、電子、情報、制御の技術者を育成します。

## MESSAGE

### 電気電子工学科 1年 倉田 欣幸

「国立鈴鹿工業高等専門学校」と聞くと堅苦しいイメージを持つかもしれませんが、実際は自由でみんな明るく、伸び伸びしていて、毎日学校へ行くのが楽しくなるような学校です。しかし「自由」と言っても何もかもが「自由」なわけではありません。校歌にもある様に「秩序」の中の「自由」なのです。つまり「自由」にはおおきな自己責任が伴うということなのです。だから高専生は、15歳から「学生」なんだと思います。そのことを心得ていれば、学校生活はもちろんのこと、寮生の人は寮生活もきつと上手く行くと思います。鈴鹿高専は学寮、図書館、情報処理センター、グラウンド、体育館他にもたくさんの施設が整っていて、その気になれば、勉強もクラブも何もかもがんばれるとても良い学校です。

## MESSAGE

### 電気電子工学科 1年 鈴木 しおり

鈴鹿高専と聞くと、「高専」と言うからには普通の「高校」とは違うだろうからどんな所かわからない、という人は多いと思います。なので私は、鈴鹿高専とはどんなところなのかを紹介します。

まず、高専の授業は、普通の高校と違って専門の勉強ばかりしてのでは!?と思いがちですが実はそうでもありません。特に、1・2年生のうちはほとんど普通の高校と変わりません。確かに専門の教科もありますが、1週間に(電気電子工学科では)3コマぐらいしかありません。3年生になると専門の教科が増えるそうです。

では1・2年のうちは少ない専門の授業はどうなのか、ということですが、これらの授業は、これから勉強していくことの基礎となるものなのでとても重要だと思います。電気電子工学科では、2年の前期まで実験がありませんが、それでも専門の授業は今まであまり知らなかった分野のことをとても詳しく勉強できるので、なかなか楽しいです。

さて、高専では、ロボコンやエコラン、ソーラーカーレース、プロコンなど専門的知識が生かされる大会に参加することもでき、レポートを提出することにより単位がもらえます。これらに参加すると、単位がもらえるだけでなく、知識が深まり、自分のためになると思います。というように、鈴鹿高専はとてもいいところですよ。校風も、けっこう自由で楽しい学校なので、ぜひ高専を受けてみてください!

所定の単位を修得して卒業すれば、一定の実務経験を積んだのち「第2種電気主任技術者」の資格がとれます。

# 電子 情報 工学科



*Department of Electronic  
and Information Engineering*

# 社会が求める高度電子情報 技術——あなたの道はグロー バルにひろがっています。

電子工学、情報工学、電子制御とそれらの融合技術を学習することを通して、21世紀のグローバルな電子情報化社会で活躍できる、エレクトロニクスにも、コンピュータにも強い次世代型エンジニアの育成します。

## MESSAGE

### 電子情報工学科 1年 小田 有城

鈴鹿高専でうまくやっていくためには大切な事が二つある。一つは何かをやりたいという熱い心だ。それにだったら高専生活の全てをかけてもいいというくらいの熱い何かを持つことだ。もう一つはその熱い心を保つための自己管理だ。どれだけ熱くても、維持できなければいつかは壊れてしまうだろう。高専は「自由」のきく学校なので、いま言った二つのことを自由とバランスよくやることでかなり強くなれる。実際に僕ら今の学生もそうやって成長しているし、それが鈴鹿高専の姿でもあると思う。だから、鈴鹿高専に入るなら、学力ばかりにこだわらずに自分にこだわった方がいいと思う。そうすれば、熱く激しい毎日になるだろう。

## MESSAGE

### 電子情報工学科 1年 小池 伸哉

鈴鹿高専には、学生に役立つ設備がたくさんあります。例えば図書館には約9万5千冊に及ぶ書物があり、いつでも借りることができます。図書館内には広い自習スペースがあり、暇な時間を有効に使うことができます。授業は1日90分4コマで午後4時まであります。でも、その分休みが多く自分の時間を多く持てます。クラブはたくさんの部や同好会があるので、自分のしたいことをすることができます。今年の夏の東海大会では、全種目の約半数で鈴鹿高専が優勝しました。校風は割と自由なので、やる気さえあればいろいろなことをすることができます。このように、勉強だけでなく部活動や自分のやりたいことに打ち込めて、一日一日を有意義に過ごすことができるのが鈴鹿高専です。

# 生物 応用 化学科

*Department of Chemistry  
and Biochemistry*

# 技術の進歩と環境保全—— 未来のあり方を考えてみませんか…

工業化学を学ぶ「応用化学コース」とバイオテクノロジーを学ぶ「生物化学コース」があります。

医薬品、食品などに関する学問や技術を学ぶほか最新の化学理論や環境保全技術についても学びます。

## MESSAGE

### ● 生物応用化学科 1年 進谷 紗弓

鈴鹿高専は、1年生から5年生・専攻科の人に先生とたくさんの人に会えます。私はこの学校へ入学してから、たくさんの個性豊かな人と出会いました。その中で今、私は社会勉強をしています。授業は個性的な先生がとても面白い授業をして下さいます。どの教科も興味を持って、とても楽しく勉強をしています。また、生物応用化学科は1年生から週に一度実験があり、設備も整っているので将来、技術者になるための技術を学べます。

私は、鈴鹿高専というすばらしい環境の中で、人生の勉強・夢のための勉強・将来のための勉強をしています。毎日が充実していてとても楽しいです。

## MESSAGE

### ● 生物応用化学科 1年 川口 貴広

環境が破壊されている今、この時代に大切なのは専門技術を身に付けることです。授業1コマ90分で基礎をしっかりと身につけていきます。3年生までは普通高校と似た勉強をしますが4年生からは専門の教科が増えてきます。1年生の僕たちも週に一度は白衣を着て実験しています。僕は、合成洗剤または薬品関係の仕事に興味があります。環境を守り復活させてきれいな水を残したいです。待っていても何も始まらない。だからこそ自分の道は自分で切り開いてゆくの。その場所が鈴鹿高専であると僕は思います。良い環境の中で僕たちは1人1人各自で実践的技術者になる目標を持って毎日を過ごしています。自分の人生を鈴鹿高専で羽ばたかせませんか。先輩も優しいですよ。もう鈴鹿高専生物応用化学科しかないでしょ!!

DO YOUR BEST!!



# 材料 工学科

*Department of Materials Science  
and Engineering*

# 身の回りから宇宙まで あらゆる産業をサポートする 『材料の力』

「ものづくり」に欠かすことのできない材料(金属・セラミックス・プラスチックなど)について基礎理論から応用技術までを学びます。新材料の開発はエレクトロニクス、エネルギー、環境、航空・宇宙など最先端の工業分野の発展に大きく寄与しています。

## MESSAGE

### ● 材料工学科 1年 高村 恭宏

鈴鹿高専の一番の特徴は、比較的自由な学校でとても設備が整っていることだと思います。また、高専の授業は90分で少し長いですが個性がある先生ばかりなので、楽しく勉強できます。

1年生では材料の基礎的なことを学び、学年が上がるにつれ専門的なことを習っていきます。学生寮は、先輩や他の学科の人たちと親しくなることができる良い環境だと思います。そしてなによりも、自立できるので社会に出た時、役立つと思います。

材料工学科で5年間学び、未来の社会に貢献できるような技術者を目指したいです。

## MESSAGE

### ● 材料工学科 1年 平井 愛子

高専と聞くと男子ばかりのイメージがありますが、女子は全然珍しくはありません。私たちの学科は結構女子の人数が多いクラスです。この学校全体は男女の仲が良く、とても雰囲気の良い学校です。

勉強は内容が難しいので90分という長い授業では予習・復習は欠かせません。後期からは、今の一般教養に加えて専門分野の勉強や実技も多くなるので楽しみです。

クラブ活動も活発で「部」だけではなく、「同好会」も多いので、自分に適したクラブを見つけることができます。

自由な雰囲気の中で、何にでも一生懸命取り組むことのできる環境と施設が整っている鈴鹿高専で、私は今、学校生活を伸々と楽しんでいきます。



# Q&A 『質問にお答えします。』

## Q.1 高専とはどんな学校ですか？

**A.1** 鈴鹿高専は、「実践の場で役に立つ高い水準の専門的知識とそれを社会のために正しく役立てることができる豊かな人間性と判断力を身につけ、技術開発やものづくりを通して継続的に新しい価値を創り出すことができるエンジニアを養成する」ことを目的とした高等教育機関です。5ヶ年一貫の学科専門教育を通して、また7ヶ年継続の専攻科教育を通して、21世紀のエンジニアとしての確かな判断ができる力を身につけるための教養と、大学学部と同等の高度な専門的知識や技術を身につけるための勉強をします。創造力豊かで国際社会に通用するエンジニアを目指して先輩達はがんばっています。

## Q.2 どんな人が高専に向いているのですか？

**A.2** 一般的には数学、理科、英語の得意な人、または好きな人が向いているといえるでしょう。理数系の授業が多いこと、3年生以上の専門科目の授業が自然科学の知識を基礎として進められること、また高学年や専攻科では英語の専門書を読んだり英語によるコミュニケーション能力が求められることなどがその理由です。絶対に技術者になりたいとか、専攻科を出て大学院へ行きたいとか、国立大学に編入学したいとかのしっかりした目標をもっている人、また何事にも積極的に取り組める人、大歓迎です。

## Q.3 高専ではどんな勉強をするのですか？

**A.3** 1～2年生では普通高校と同じように数学、物理、化学、英語、国語、社会、体育などが主な教科となりますが、初歩的な専門の実験や実習もあり、低学年のうちから高専らしい勉強ができます。3年生からはだんだんと専門科目が多くなります。とくに4年生では「創造工学」という授業もあって、自分の創りたいと思うものを先生の指導を受けながら創ることができます。ロボコン、プロコン、ソーラーカーレースなどを一生懸命やれば授業と同等の単位がもらえます。また5年生の卒業研究という授業では、専門分野のテーマに関する研究活動ができます。

## Q.4 専攻科について教えてください。

**A.4** 鈴鹿高専では、学科専門教育で養われた知識と資質を基礎として、さらに2年間の専門教育を行う課程—専攻科—があります。主に機械工学科、電気電子工学科、電子情報工学科の学生が進学する「電子機械工学専攻」と生物応用化学科、材料工学科の学生が進学する「応用物質工学専攻」の2つの専攻があります。学科専門教育よりさらに深く幅広い専門的知識と総合的な価値判断力を身につけた国際的に活躍できるエンジニアを育成するための教育を実施しています。専攻科を修了し、一定の条件をクリアすると大学卒業者と同一「学士」の学位が取得できます。専攻科からは大学院への進学と企業への就職の2つの道があります。最近では「大学院への推薦入学」が増えています。25・26頁の進学・就職先をご覧ください。

## Q.5 大学への編入について教えてください。

A.5

多くの国立大学が、高専卒業生を3年次編入学で受け入れる道を開いています。最近では、本校では卒業生の約50%の学生が進学し、そのうちの約7割の学生が大学編入を、3割が本校専攻科への進学を選んでいきます。編入学試験はほとんどが6月～8月の間に実施され、試験日が異なる場合が多いので複数の大学を受験することができます。また5年間クラブ活動を続けながら特別な受験勉強をせずに国立大学へ進学することも「高専からの編入学」の有利さのひとつです。このように、鈴鹿高専は安定した就職だけでなく、大学(とくに国立大学工学部)への進学を希望している中学生の皆さんにも魅力ある学校だと考えます。進学先は25頁に掲載してありますので見てください。

## Q.6 就職先はどのような会社ですか？

A.6

高専の就職状況はとても良く、本校でも昨年の求人倍率は10倍でした。就職希望者は早い時期に本人の希望する会社等に全員決定しております。会社名等は26頁に掲載してありますので是非見てください。

## Q.7 昨年の入学試験の入試倍率はいくつですか？

A.7

学校全体の入学定員に対する受験倍率は3.8倍でした。学科別では、機械工学科は3.7倍、電気電子工学科は3.2倍、電子情報工学科は4.4倍、生物応用化学科は4.9倍、材料工学科は3.1倍でした。

## Q.8 学費はいくらですか？ 減免制度はありますか？

A.8

平成16年4月入学生の必要な経費の予定額は次のとおりです。

平成16年4月入学者納入予定額

項目	金額(円)	内 訳	
		入学時必要額(円)	10月納入額(円)
入学料	84,600	84,600	
授業料	(年額)228,000	(前期分)114,000	(後期分)114,000
学生会・教育後援会費	(年額)32,400	(前期分)16,200	(後期分)16,200
同上 入会金	13,000	13,000	
新入生合宿研修費	12,000	12,000	
旅行積立金(1・2年)	(年額)54,000	(前期分)27,000	(後期分)27,000
日本スポーツ振興センター会費	1,470	1,470	
計	425,470	268,270	157,200

※上記の他制服・教材費等約140,000円(学科によって異なります。)が必要です。

■入寮生は上記の他、次の経費が必要です。

項目	金額(円)	内 訳	
		入寮時必要額(円)	10月納入額(円)
寄宿料	(年額)8,400	(前期分)4,200	(後期分)4,200
入寮費	4,000	4,000	
学寮生活費	(年額)59,100	(前期分)29,550	(後期分)29,550
計	71,500	37,750	33,750

※別途寮食費 月平均約20,000円が必要です。

■入学料、授業料免除制度があります。

経済的事由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる学生に対し、授業料の全額もしくは半額を免除し、またはその徴収を猶予することがあります。

また入学料に関しても、入学前1年以内に、入学する方の学資を主として負担している方が死亡し、又は風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難な場合には、入学料の全額もしくは半額を免除することがあります。

■奨学金制度

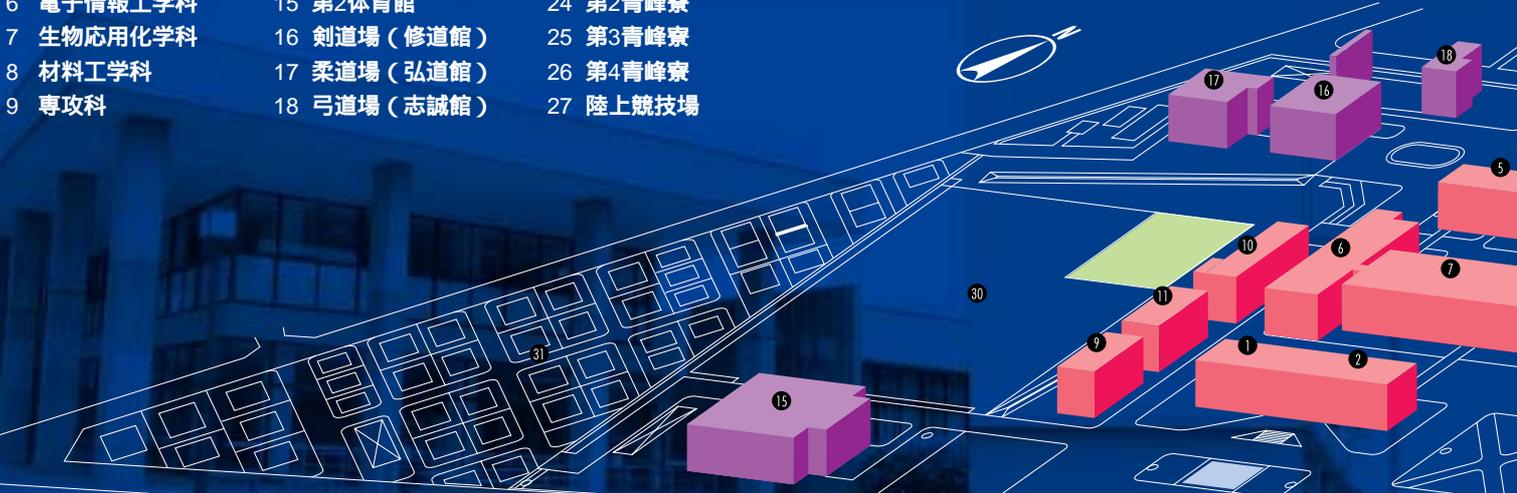
本校では全学生の約14%が、日本育英会や各種団体の奨学金の貸与を受けています。日本育英会では人物、学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難である学生に対し、下表の奨学金が無利子で貸与されています。

月 額		1～3学年	4・5学年
第一種奨学生	自宅通学	21,000円	41,000円
	自宅外通学(寮生含む)	22,500円	47,000円

# Campus map

キャンパスライフの舞台はここ！  
全校生徒1100人の5年間で刻まれる

- |           |               |          |           |
|-----------|---------------|----------|-----------|
| 1 管理事務部   | 10 共同研究推進センター | 19 青峰会館  | 28 テニスコート |
| 2 一般科目    | 11 材料分析室      | 20 寮管理部  | 29 プール    |
| 3 教室      | 12 マルチメディア棟   | 21 寮食堂   | 30 野球場    |
| 4 機械工学科   | 13 実習工場       | 22 青峰寮A  | 31 職員宿舎   |
| 5 電気電子工学科 | 14 第1体育館      | 23 第1青峰寮 |           |
| 6 電子情報工学科 | 15 第2体育館      | 24 第2青峰寮 |           |
| 7 生物応用化学科 | 16 剣道場（修道館）   | 25 第3青峰寮 |           |
| 8 材料工学科   | 17 柔道場（弘道館）   | 26 第4青峰寮 |           |
| 9 専攻科     | 18 弓道場（志誠館）   | 27 陸上競技場 |           |



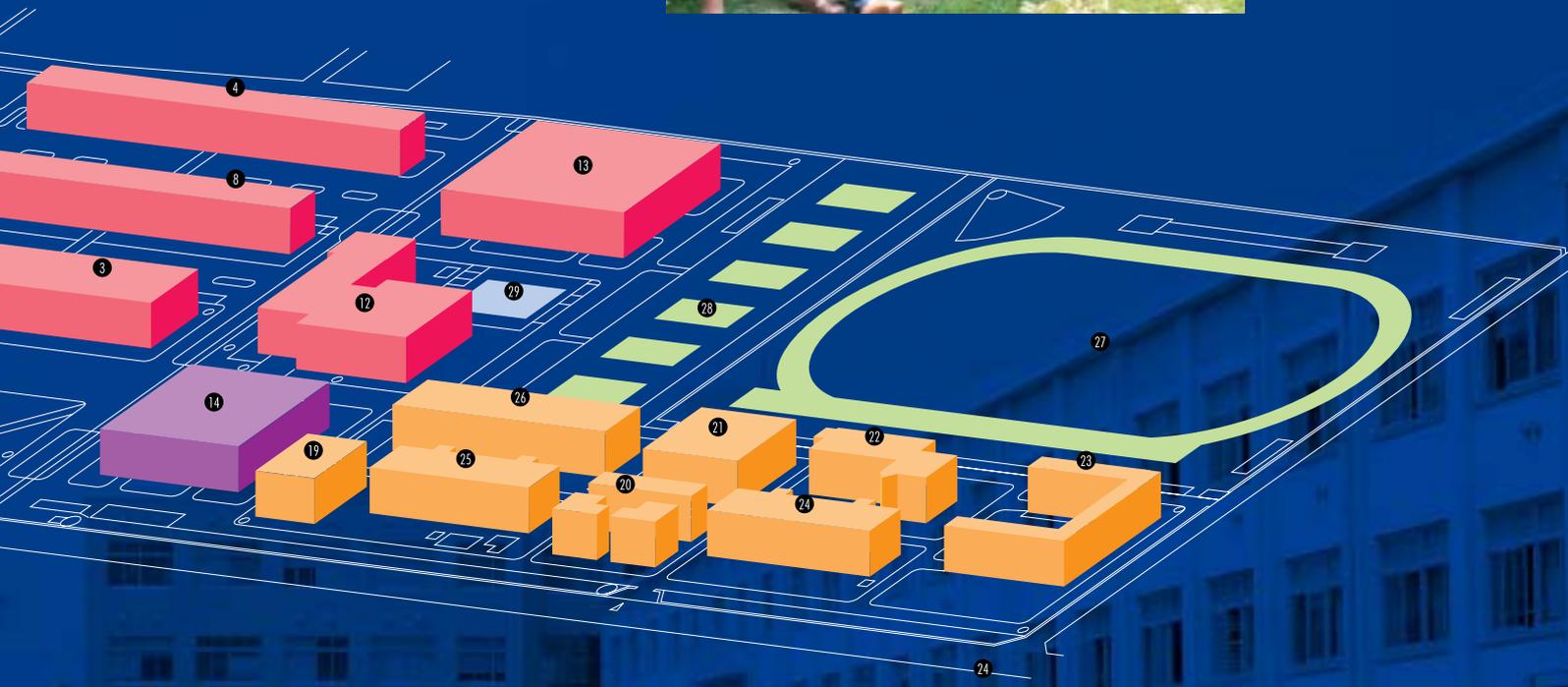
## ■学校紹介ビデオ

「見つけよう、君の未来。」

本校のキャンパスライフを紹介したビデオを各中学校に置いてありますのでご覧ください。



- 10月14日～17日 第2学年研修旅行（北海道）
- 10月15日 第1学年野外研修
- 10月11～12日 プログラミングコンテスト（東京）
- 10月21日 体育祭
- 10月25・26日 高専祭・学校説明会
- 11月23日 ロボコン全国大会（東京）
- 12月1日～5日 後期中間試験
- 12月25日～ 冬期休業（1月7日まで）
- 1月8日 授業再開
- 1月8日～15日 平成16年度入学試験願書受付（推薦）
- 1月22日 平成16年度入学試験（推薦）
- 1月27日 平成16年度入学試験合格内定発送（推薦）
- 1月28日 校内武道大会
- 2月2日～10日 平成16年度入学試験願書受付（学力）
- 2月4日 校内マラソン大会
- 2月20日～27日 学年末試験
- 2月22日 平成16年度入学試験（学力）
- 3月1日 平成16年度入学試験合格発表
- 3月18日 卒業式
- 3月20日 学年末休業



後期

前期

中学校は3学期制ですが、本校では4月から9月までを前期、10月から3月を後期、という2期制をとっています。平成15年度の主な行事を参考に紹介します。

Campus calendar

- 4月8日 入学式
- 4月11日 前期授業開始
- 4月16日、18日 新入生合宿研修 (国立淡路青年の家)
- 4月16日 第2学年野外研修
- 4月28日 開校記念日
- 5月30日、6月1日 高校総体
- 6月9日、13日 前期中間試験
- 7月5日、6日、12日、13日 東海地区国立高専体育大会
- 7月17日 球技大会
- 7月21日 夏期休業 (8月31日まで)
- 7月26日、27日 ソーラーカー・レース (鈴鹿サーキット)
- 9月1日 授業再開
- 9月6日 オープンカレッジ
- 9月24日、30日 前期末試験 (以降休業)
- 10月6日 後期授業開始
- 10月12日 口ホココン東海・北陸地区大会 (福井)

# マルチ メディア棟

Multimedia Building

写真のマルチメディア棟内には教育研究用共同利用施設として、図書館、情報処理教育センター、視聴覚室、語学演習室が設置されています。

情報処理教育センターには、インターネットに接続された100台余りのパソコンが設備されプログラミング教育の他、コンピュータを使用した専門教育に利用されています。また、学生には全員にコンピュータのアカウントが発行され、電子メールの利用や様々な情報検索もできるようになっています。センターは夜間閉館を実施しており、毎日遅くまで学生で賑わっています。

## ■ 図書館

図書館は学生の学習と教養の場としての学習図書館と、教官の援助をすすめるための研究図書館としての使命を持っています。このため専門的な理工学図書を中心として幅広い分野の図書館資料を収集しています。

平成13年4月には明るく開放的な図書館としてリニューアルされ、新設された情報検索コーナーにおいてインターネット検索やCD-ROMの利用も可能となりました。また、地域住民の方々が生涯学習を行う場所として利用できるように、一般教養に役立つ書籍、雑誌、ビデオテープ等も備えて、一般開放も行っています。現在の所蔵図書は95,000冊に及んでいます。

## ■ 情報処理教育センター





●学寮食堂（夕食風景）

男子寮、女子寮及び留学生寮があり、寮生活を自ら希望した学生たち約400名（外国人留学生13名含む）が入寮しています。学寮（青峰寮）では、集団生活を通じて協調性、自立性を育て規律ある生活習慣を身につけることができます。また、一生つき合っていける友人を得て、勉強や課外活動に励み、寮祭などの行事を楽しんで充実した生活を送っています。

# 学生寮

Student dormitories



男子寮（高学年用A寮） 奥は女子寮（3階建）



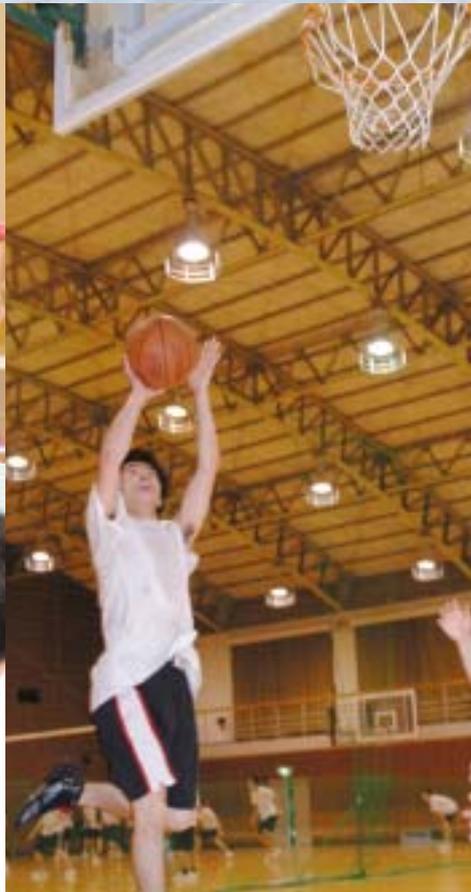
夏期寮祭  
（ソフトバレーを楽しむ寮生対教職員）



男子寮居室（高学年用「A寮」）

# Club & Circle

学習に遊びに情熱を燃やす仲間を見つけよう





### 体育系クラブ

- 陸上競技部      ○バドミントン部      ○硬式野球部
- ソフトテニス部      ○テニス部      ○バスケットボール部
- ワンダーフォーゲル部      ○柔道部      ○剣道部
- バレーボール部      ○弓道部      ○卓球部
- 空手道部      ○ハンドボール部      ○サッカー部
- ラグビー部      ○水泳部      ○女子バレーボール部

### 文化系クラブ

- 自動車クラブ      ○音楽クラブ      ○E・S・S
- 写真クラブ      ○文芸クラブ      ○無線クラブ
- 美術クラブ      ○コンピュータクラブ      ○ロボ研
- 囲碁将棋クラブ

### 同好会

- 茶道同好会      ○華道同好会      ○鉄道愛好会
- スキー同好会      ○ゴルフ同好会      ○クイズ同好会
- 映像文化研究会      ○同好会旅の会      ○青空同好会
- ソーラーカー同好会      ○ピアノ同好会      ○カード同好会
- 自転車同好会      ○イラスト創作      ○演劇
- フットサル同好会      ○軟式野球      ○鉄馬
- ベンチャービジネス      ○護身術

# Information

## 卒業生の進路状況等

### 学科卒業後の進学状況

卒業生の約50%の学生が進学しており、そのほとんどが本校専攻科と国立大学へ進んでいます（進学者のおよそ半数が推薦入学）。

#### 専攻科への進学

現在本校専攻科では、推薦と学力による2通りの選抜入試を行っています。内容は、大学編入学試験とほぼ同様です。専攻科にも基礎学力の重要性が求められます。5年生までに培ってきた研究課題をさらにきわめたいと考える具体的な目的をもった人達が多く専攻科に進んでいます。専攻科は、これまでに国立高専55校のうち44高専に設置され、新しい高専教育像として全国的な注目を集めています。鈴鹿高専の専攻科には、電子機械工学専攻と応用物質工学専攻の2専攻があります。この専攻科を修了して、大学評価・学位授与機構の審査に合格すると「学士」の学位が授与されます。

専攻科修了後の進路については2通りあります。ひとつは大学院への進学です。近いところでは名古屋大学、名古屋工業大学、三重大学、豊橋技術科学大学などの大学院がその進学先です。各大学院の指導教官からは、専攻科修了者に対して高い評価を得ています。また、最近では大学院への推薦入学も増えてきました。現在、東京工業大学、九州工業大学、奈良先端科学技術大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学、早稲田大学、立命館大学などへの推薦入学の道ができていますが、この道は今後ますます増加する傾向にあります。

専攻科修了生のもう一つの選択肢は就職です。大学生と肩を並べて競いあい、一流企業にも多くの卒業生が就職しています。

#### 大学編入学

大学へは通常3年次に編入学することになります。編入学試験は、通常の大学入試と異なり、センター試験もなく、各大学が個別に実施する試験のみで、試験科目も数学、外国語を中心に数科目があるだけです。豊橋技術科学大学や長岡技術科学大学のように学力試験を課さない推薦入試を実施している大学もあります。通常の大学入試と比べてもはるかに負担が軽く、基礎学力をしっかり身につけておけば志望大学への入学は容易です。なお、高専からの編入学を認める大学は全国に多数あり、最近では文科系学部にも広がっています。平成14年度の実績では全国124の大学・204学部（国立大学124学部）が約2,500名（国立大学約2,300名）の高専卒業生を受け入れています。

#### 本校卒業生の主な進学先リスト

大学等 / 年度	11	12	13	14	計
鈴鹿高専専攻科	25	17	26	31	99
旭川高専専攻科				1	1
山形大学				1	1
図書館情報大学			1		1
筑波大学		1	1	1	3
東京大学				1	1
東京農工大学		1	1	2	4
東京工業大学		2		1	3
電気通信大学		1		1	2
新潟大学	1	2			3
長岡技術科学大学	1	2	3	6	12
富山大学		1			1
金沢大学	1		2		3
福井大学		1			1
山梨大学				1	1
信州大学	1	1	1		3
岐阜大学	9	5	8	8	30
名古屋大学	1	3	1	3	8
名古屋工業大学	5	7	5	2	19
豊橋技術科学大学	8	14	12	11	45
三重大学	5	10	12	12	39
京都大学			1		1
大阪大学	1			1	2
神戸大学				1	1
奈良女子大学	1				1
岡山大学			1	1	2
広島大学	1	1		1	3
徳島大学			1	1	2
香川大学				1	1
九州大学				1	1
九州工業大学	1	1	1	2	5
宮崎大学				1	1
琉球大学		1			1
大阪市立大学	1				1
姫路工業大学			2		2
神奈川大学				1	1
立命館大学	3	3	3	2	11
中部大学				1	1
合計	65	74	82	96	317

### 専攻科修了後の進学状況

最近、推薦による大学院進学が増えています。

#### 大学院進学（専攻科修了生）

大学 / 年度	11	12	13	14	計
長岡技術科学大学大学院			2		2
金沢大学大学院	1				1
静岡大学大学院			1		1
北陸先端科学技術大学院大学	1		2	1	4
岐阜大学大学院				1	1
豊橋技術科学大学大学院	1	4	2	4	11
名古屋大学大学院		1	3		4
三重大学大学院			2		2
奈良先端科学技術大学院大学				2	2
大阪大学大学院			1		1
鈴鹿医療科学大学大学院				1	1
合計	3	6	13	9	31

## 卒業後の就職状況

企業内での活躍が評価されて、本校の卒業生に対する求人倍率は、毎年高い数値になっています。平成13、14年度は、就職希望者1人に対し10社以上の会社から求人採用の申し出がありました（就職活動に際して、大学学部では自由応募制が普通ですが、高専ではほとんどが学校推薦制です）

### 主な就職先

#### 機械工学科

INAX、エクセディ、エヌケーケーユニックス、エヌケーケー総合設計、オークマ、京セラ、JR東海、ソニーイーエムシーエス、日清紡績、日設エンジニアリング、日本貨物鉄道、日本科学冶金、富士電機、牧野精機、三菱化学、三菱重工業、ヤマハ

#### 電気電子工学科

イーベックスインターナショナル、NTTドコモ、関西電力、JR東海、総合警備保障、ソニーイーエムシーエス、中部電力、豊田合成、中西金属工業、ファーストモールディング、本田技研工業、三菱化学、森精機製作所、モリテックスチール

#### 電子情報工学科

INAX、NTTドコモ、キャノン販売、京セラ、京セラコミュニケーションシステム、三洋電機、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ、JR東海、中部電力、日本たばこ産業、日本エンジニアリング、パナソニックエンジニアリング、日立マイクロソフトウェアシステムズ、松下システムテクノ

#### 生物応用化学科

味の素フーズ、伊藤製油、花王、関西ペイント、財務省印刷局、JSR、中部クノール、東洋インキ製造、東レ、トステム、日東電工、日本製薬、三菱化学、ロート製薬、和光純薬工業

#### 材料工学科

旭テック、アプライドマテリアルズジャパン、エクセディ、鐘淵化学工業、川崎製鉄、財務省印刷局、サンコール、静岡バイオニア、セム、ダイジェット工業、ダイソウ工業、トステム、トライス、東レ、西日本ダイカスト、半導体エネルギー研究所、プラザー工業、三重金属工業、明治乳業、森永乳業、リコー

### 専攻科修了生の就職先

キャノンシステムアンドサポート、シャープ、鈴鹿富士ゼロックス、住友電工ブレーキシステム、住友電装、東海テレビプロダクション、豊田合成、日産テクノ、日本真空技術、日本貨物鉄道、日立旭エレクトロニクス、本田技研工業、松阪ケーブルテレビ、三重ゼロックス、美和ロック、リコーテクノシステム、他

## 教官構成

高専では、大学や短大と同じように、教授、助教授、講師、助手を置くこととされています。鈴鹿高専には、それぞれの学科に下表のような教官が配置されています。構成面で特色をあげれば、博士などの学位取得者が多いということでしょう。

教官は、教育とともに自身の課題を持って研究を進めていますので、みなさんの知的好奇心に、十分に応えられると思います。

#### 鈴鹿高専の教官構成

学 科 等	教 官 数	うち博士号取得者
一 般 学 科	26	7
機 械 工 学 科	11	8
電 気 電 子 工 学 科	11	8
電 子 情 報 工 学 科	11	7
生 物 応 用 化 学 科	12	11
材 料 工 学 科	11	9

平成16年度

## 学 生 募 集

### 募集定員

機械工学科	40名
電気電子工学科	40名
電子情報工学科	40名
生物応用化学科	40名
材料工学科	40名

### 推薦による入学者の選抜

募集人員	各学科とも入学定員の3割程度
願書の受付	平成16年1月8日(木)~15日(木)
検 査 日	平成16年1月22日(木)
検査会場	鈴鹿工業高等専門学校
選抜の方法	在籍中学校長の推薦書、調査書および面接により総合的に判定します。
合格者の内定	平成16年1月27日(火)

推薦で不合格のとき、学力検査を受けることができます。

### 学力検査による入学者の選抜

願書の受付	平成16年2月2日(月)~10日(火)
検 査 日	平成16年2月22日(日)
検査教科	理科、英語、数学、国語、社会
検査会場	鈴鹿工業高等専門学校、尾鷲会場、上野会場、水口会場
選抜の方法	学力検査、在籍(出身)中学校長の調査書等により総合的に判定します。

### 合格発表

平成16年3月1日(月)

詳しい内容は、学生課教務係まで問い合わせてください。

募集要項および出願書類の詳細については、平成16年度学生募集要項をご覧ください。

入学試験に関する問い合わせや鈴鹿高専の見学を希望される場合はお気軽に学生課教務係へご連絡ください。

鈴鹿工業高等専門学校学生課教務係

TEL.0593-68-1731・1739・2123 FAX.0593-68-1738

<http://www.suzuka-ct.ac.jp>